

# 「環境未来都市」構想

*International Forum on the “FutureCity” Initiative*

## 推進国際フォーラム



### ～ 開催趣旨 ～

「環境未来都市」構想は、2010年6月に日本政府が掲げた「新成長戦略」の国家戦略プロジェクトの一つとして、「環境・超高齢化対応等の課題に対応し、人間中心の新たな価値を創造する都市」の実現に向けた取組を通じ、世界に類のない成功事例を創出し、国内外に普及展開させることにより、都市・地域の活性化や我が国の持続可能な経済社会構造の実現を目指すものです。

この度、2011年12月に選定しました「環境未来都市」を国内外へ周知するとともに、「環境未来都市」構想の普及促進を図り、国際的連携のネットワーク構築の端緒とし、新たな成功事例・ナレッジ創出のための交流を図ることを目的に、「環境未来都市」構想推進国際フォーラムを開催することとなりました。

海外からは環境・社会・経済それぞれのテーマを専門とする有識者をお招きし、基調講演やパネルディスカッションを行います。また、本フォーラムでは昨年3月に発生した東日本大震災の被災地復興に向けた最新状況もお伝えします。

日時：平成24年2月21日(火)

会場：日経ホール(東京都千代田区)

主催：内閣官房・内閣府

# 「環境未来都市」構想推進国際フォーラム 会議日程

## ◆第1部：シンポジウム（10:00～12:30）

課題解決に向けた国際連携の経験に基づき、都市の時代の課題対応、環境未来都市構想への評価、国際的連携の方策などについて意見交換を行い、環境未来都市の推進に向けた共通理解を育み、国際的ネットワーク構築の契機とします。

10:00～10:10 開会

10:10～10:30 趣旨説明：「環境未来都市」構想 ～世界共通の課題解決に向けた日本からの発信～

村上 周三 氏（(独)建築研究所理事長、  
「環境未来都市」構想有識者検討会委員長、環境未来都市評価・調査検討会座長）

10:30～10:50 基調講演：「環境未来都市」構想への期待

ピア・オールセン・デューア 氏（デンマーク貿易・投資担当大臣）

10:50～12:30 パネルディスカッション：人類共通の課題への挑戦と国際連携

コーディネータ：村上 周三 氏

パネリスト：セス・シュルツ 氏（G40研究部長）

ジノ・ヴァン・ベギン 氏（ICLEI世界事務局次長）

ジョン・ベアード 氏（WHO高齢化と人生部長）

## ◆第2部：国際会議・分科会（13:30～16:00）

環境未来都市を実現するために不可欠な、環境価値、社会（高齢化）的価値、経済価値創造に即して、三つに分けて開催

【低炭素都市推進国際会議in東京】「都市連携による低炭素社会の実現～日本からアジアへ～」 同時開催

環境に関する分科会については、低炭素都市推進国際会議として開催。（主催：低炭素都市推進協議会）  
詳細は「低炭素都市推進国際会議in東京」資料参照。

### 分科会①【高齢化分科会】高齢社会の都市構想：課題と可能性

高齢社会の課題について問題意識の共有を図った上で、環境未来都市から先進事例を紹介した後、高齢化に関する国際的動向に精通した有識者や自治体関係者などと、社会の活力を保ちつつ高齢者が健やかに安心して生活できる都市づくりについて意見交換を行い、解決策に関する共通理解を得ます。

13:30～13:50 論点説明 秋山 弘子 氏（東京大学高齢社会総合研究機構特任教授）

13:50～14:50 取組紹介 森 雅志 氏（富山市長） 立花 正人 氏（横浜市健康福祉局健康福祉局長）

ジョン・ベアード 氏（WHO高齢化と人生部長）

左 学金 氏（上海市社会科学院常務副院長）

14:50～16:00 パネルディスカッション

コーディネータ：秋山 弘子 氏 パネリスト：取組紹介発表者

### 分科会②【経済分科会】自律的な価値創造循環

環境・高齢化等の課題を解決し、都市をエンジンとする社会・経済の活性化を実現するために取り組むべき課題を議論します。適切な公民連携を通じた自律的価値創造循環の構築について、海外の成功事例紹介を織り込みつつ、意見交換を行い、解決策に関する共通理解を得ます。

13:30～13:35 論点説明 竹ヶ原 啓介 氏（(株)日本政策投資銀行環境・CSR部長）

13:35～14:25 取組紹介 秋山 浩保 氏（柏市長） 春日 隆司 氏（下川町環境未来都市推進本部長）

ウルフ・ランハーゲン 氏（SWECO社上級顧問）

パイパー・モード・ナサー 氏（セティアハルマン社事業開発部長）

14:25～16:00 パネルディスカッション

コーディネータ：竹ヶ原 啓介 氏

パネリスト：取組紹介発表者

## ◆第3部：特別セッション（16:15～17:40）

環境未来都市に選定された被災地都市からビジョンや取組内容を紹介し、国内外の有識者からの助言・提案や意見交換を通じて、今後の復興や環境未来都市の実現への貢献につなげます。

16:15～17:40 コメント・意見交換

コーディネータ：小宮山 宏 氏（(株)三菱総合研究所理事長、東京大学総長顧問）

コメンテーター：トジョコルダ・ニラルタ・サマディ 氏

（インドネシア開発監督管理大統領実務室長官代行）

取組紹介： 戸田 公明 氏（大船渡市長）

野田 武則 氏（釜石市長）

井口 経明 氏（岩沼市長）

古山 守夫 氏（東松島市復興政策部長）

桜井 勝延 氏（南相馬市長）

鴫田 芳文 氏（新地町企画振興課長）

## ◆まとめ・総括（17:40～18:10）

## ◆第1部：シンポジウム (10:00～12:30)



**村上 周三 氏**

工学博士。東京大学名誉教授。デンマーク工科大学客員教授、慶應義塾大学理工学部教授を歴任し、現職。国土交通省中央建築士審査会会長、建築・住宅国際機構会長、環境モデル都市・低炭素社会づくり分科会座長などを歴任。研究分野は、建築・都市環境工学、サステナブル建築等。



**ピア・オールセン・デュア 氏**

2007年から国会議員(社会主義人民党)。2011年に貿易・投資大臣として入閣。2003～2006年、「デンマーク自然保護ソサエティ」において国際コーディネーター。2006～2007年、「持続可能な発展のための92団体のフォーラム」代表。2010年 コペンハーゲン大学(政治科学)修士号取得。



**セス・シュルツ 氏**

C40において研究部長を務めるとともに、都市における温室効果ガス排出削減のためのツールや分析手法等について主要パートナーと連携し、C40の研究テーマ開発に携わる。クリントン気候変動イニシアチブと米国グリーンビルディング協会との連携により、気候改善開発プログラムを開発。



**ジノ・ヴァン・ベギン 氏**

「欧州持続可能な都市・自治体キャンペーン」運営委員会のメンバーであり、2004年の「オールボー公約」の共同起草者。欧州委員会の都市環境専門家グループのメンバー(2003～2006)であり、「ヨーロッパ環境都市」賞の審査員も勤めている。ICLEIには12年前より参加し、2007年より現職。



**ジョン・ベアード 氏**

医師・豪州出身。WHOにおいて、高齢化と人生部長及びジェンダー、女性、健康部長を兼任。グローバルコミュニティとともに、人口の急速な高齢化に伴う効果の最大化に向けた取組を推進。世界経済フォーラムの高齢化グローバルアクションカウンシルメンバー。国際学会等で著書多数。主要国際研究にも積極的に参画。

●C40(世界大都市気候先導グループ)

2005年に当時のロンドン市長によって提唱・創設。気候変動抑制への取組を推進する世界の大都市のネットワークであり、気候変動の取組に世界的なリーダーシップを示すとともに、各都市間の協働及び知の共有を目的としている。会員都市40都市、連携都市19都市)

●ICLEI - Local Governments for Sustainability (イクレイ持続可能性を目指す自治体協議会)

1990年にニューヨークの国際連合で行われた「持続可能な未来のための自治体世界会議」で設立された、持続可能な開発を目指す地方自治体向けの国際的なプラットフォーム。世界70ヶ国、1200以上の自治体及び自治体連合が加盟。

●WHO(World Health Organization: 世界保健機関)

「高齢者に優しい都市づくり」を目指し、2007年に「グローバル・エイジフレンドリーシティ:WHOガイド」を発行。また、14か国、500の都市や地域との連携を図ることを目的に、エイジフレンドリーシティ・グローバルネットワークを立ち上げた。

## ◆第2部：国際会議・分科会 (13:30～16:00)

※環境未来都市発表者は次頁参照。

### 【低炭素都市推進国際会議in東京】「都市連携による低炭素社会の実現～日本からアジアへ～」

詳細は「低炭素都市推進国際会議in東京」資料参照。

#### 分科会①【高齢化分科会】高齢社会の都市構想：課題と可能性



**秋山 弘子 氏**

イリノイ大学でPh.D(心理学)取得、米国の国立老化研究機構フェロー、ミンガン大学社会科学総合研究所研究教授、東京大学大学院人文社会系研究科教授(社会心理学)などを経て、2006年より現職。近年は超高齢社会のニーズに対応するまちづくりにも取り組むなど超高齢社会におけるよりよい人生のあり方を追求している。



**左 学金 氏**

中国の人口経済学、都市開発、社会保障制度改革が専門。現在、中国上海社会科学院常務副院長、同 経済研究所所長、同 都市地域開発センター所長を務める。学会発表・著書多数。現在、研究プロジェクト「21世紀の中国における高齢化及び社会経済政策対応」の研究代表者に従事。

#### 分科会②【経済分科会】自律的な価値創造循環



**竹ヶ原 啓介 氏**

1989年一橋大学法学部卒業後、日本開発銀行(現、(株)日本政策投資銀行)に入行。政策企画部調査役やフランクフルト主席駐在員等を歴任し、2011年より現職。



**ウルフ・ランハーゲン氏**

SWECO社の主席技師長を務めるとともに、ストックホルムのKTH大学教授を兼務。スウェーデンや海外における戦略的都市計画に係る広範な経験を有する地域及び都市計画設計者。数多くのプロジェクトに参加し、理論と実践との橋渡しに従事。



**パイパー・モード・ナサー氏**

セティアハルマン社において事業開発部長を務める。マレーシア政府におけるグリーン技術イニシアティブ推進の重点化を踏まえ、サイバージャヤ市における幅広い企業幹部と連携し、目標であるグリーンシティ化の実現を図る。

◆第3部：特別セッション (16:15~17:40)



小宮山 宏 氏

1967年東京大学工学部化学工学科卒業。1972年同大学大学院工学系研究科博士課程修了。1988年から東京大学工学部教授、工学部長、大学院工学系研究科長、副学長などを経て、2005年第28代総長に就任。2009年3月に総長退任後、同年4月より現職。



トジョコルダ・ニラルタ・サマディ氏

2006年9月~2008年12月アチェ・ニース復旧・復興庁 計画管理部長、2008年1月~2009年4月 同 副長官、事業実施責任者、2009年11月~2011年12月 インドネシア大統領執務室 室長上級補佐、2012年1月~現在 インドネシア 開発監督管理大統領実務室 長官代行

◆環境未来都市発表者

【被災地以外】

低炭素都市推進国際会議  
in東京登壇者



松岡 俊和 氏  
北九州市環境局理事

分科会①【高齢化分科会】登壇者



森 雅志 氏  
富山市長



立花 正人 氏  
横浜市健康福祉局  
健康福祉局長

分科会②【経済分科会】登壇者



春日 隆司 氏  
下川町環境未来都  
市推進本部長



秋山 浩保 氏  
柏市長

【被災地】 特別セッション登壇者



戸田 公明 氏  
大船渡市長



野田 武則 氏  
釜石市長



井口 経明 氏  
岩沼市長



古山 守夫 氏  
東松島市  
復興政策部長



桜井 勝延 氏  
南相馬市長



鵜田 芳文 氏  
新地町  
企画振興課長

◆会場

3階日経ホール(メイン会場)

- 第1部 シンポジウム
- 第2部 低炭素都市推進国際会議in東京
- 第3部 特別セッション

6階カンファレンスルーム

- 第1部 サテライト会場
- 第2部 分科会①・②
- 第3部 サテライト会場

【お問い合わせ】

「環境未来都市」構想推進国際フォーラム事務局(内閣官房地域活性化統合事務局)  
TEL: 03-5510-2175 FAX: 03-3591-8801 E-mail: g.futurecity@cas.go.jp